

自分の考えの根拠を明らかにして、分かりやすく伝え合う力を高める 算数科指導の工夫

—「考え方・説明の仕方ガイド」の活用と「つながり発言」を用いた場の設定を通して—

算数・数学班 周東 景子（小学校教諭）

○立式の理由を説明することが苦手 **児童の実態** ○発表できれば満足

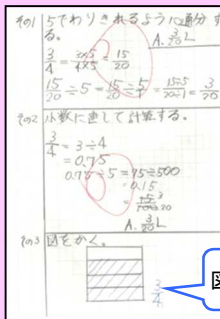
考えが思いつかない
説明の仕方が分からない

理由を説明できる
自分の考えを聞いてほしい

実践例 第5学年「分数のかけ算とわり算」 <問題> $3/4$ Lのジュースを作るのに、みかんは5個必要でした。1個当たりでは、何L作ったことになるでしょう。

手だて1 「考え方・説明の仕方ガイド」の活用

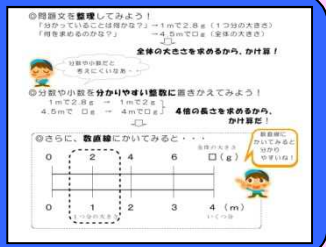
<自力解決>
自分の考えを根拠を明らかにしながら表現できる



ガイドを活用して、自分の考えを順序立てて、根拠を明らかにしながらノートに書いた

「考え方・説明の仕方ガイド」

文章問題を解くときに、考え方や表現の仕方を例示したもの



図を使って

説明できた!

わかってもらえた!

<集団解決（4人組）>
自分の考えを根拠を明らかにしながら説明し合うことができる



4人組になって、3種類のカードを用いて自他の考えを比較・検討する

- 納得できたとき
- 分からなかったとき
- 「なるほど」と思ったとき



なるほど!

だから

「つながり発言」

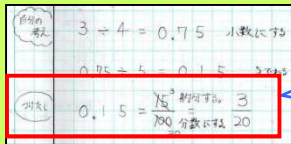
友達の発言を聞いて、疑問に思ったことやもっと知りたいことに対して「例えば？」など、出された考えをつなげていくときに使う言葉

「つながり発言」を用いた4人組での交流のイメージ



<集団解決（全体）>

友達の考えを参考にして、自分の考えを修正したりよりよいものにしたりできる



友達の考えを参考にして、つけたしをした

<児童の感想より>

図を使って解くやり方もあって、やってみたらやりやすかった。 became.



手だて2 「つながり発言」を用いた場の設定

1 成果

- 自力解決の場面で、「考え方・説明の仕方ガイド」を活用し、文章問題から問題場面をイメージして立式したり、計算の仕方を既習事項を生かして自分の考えを根拠を明らかにして表現したりすることができるようになってきました。
- 集団解決の場面で、4人組になって「つながり発言」を用いた場を設定し、考えの根拠を明らかにしながら説明し合ったことで、自他の考えを比較・検討し、よりよい考えに気付くことができるようになってきました。

2 課題

- 自力解決の場面で、児童が他の単元でも「考え方・説明の仕方ガイド」を活用できるように、場面を精選するとともに、活用できる場や時間を確保する必要があります。
- 4人組になり考えを説明し合う中で、分かりやすく伝え合う力を高めるためには、「つながり発言」を視覚的に表示するなどして、さらに意識付けを図る必要があります。